

R4 県新人大会 柔道競技専門部の対策

長崎県中体連柔道競技部

【入場について】

1. 登録選手(個人戦のみの出場者とその受けも含む)、監督、コーチ、応援者のみとする。
応援者は、登録選手 1名につき2名とする(未就学児等も含む)。武道場内への入場は、競技役員で制限をする。
2. 選手は、別紙5の同意書を10月28日(金)大会申込締切日までに監督へ提出すること。また、別紙1の体調記録表と別紙4の行動記録表を大会2週間前から記入し、体調記録表のみ大会当日監督に提出すること。(行動記録表・同意書は大会後1ヶ月学校保管)
監督は、別紙1で選手の状況を確認し、コーチの状況とともに別紙2の学校同行者体調記録表にまとめ、別紙4の応援者保護者体調記録表と一緒に朝の受付に提出すること。体調記録表をもとに入場の制限をするので記名、検温の記入がない場合は入場を断る場合がある。
3. 応援者については、ADカードホルダーを各自用意する(カードは出場校が責任をもって印刷すること)。館内では必ず首からかけていること。

提出物一覧(朝受付時)

- 学校同行者体調記録表 (別紙2)←選手・監督・コーチ分(監督)
- 応援者(保護者等)体調記録表(別紙4)←来場予定保護者役員分(監督)

4. 館内ではマスクを必ず着用すること。ただし、高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるため、試合時は外してよい。また、試合の前・後は人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクを外してよい。
5. 原則、更衣室は設けない。各自済ませて集合すること。ただし、必要であれば更衣室を利用すること。
6. 剣道場を選手控室とする。密にならないように間隔を取って過ごすこと。
7. トイレに並ぶ場合は、十分な距離(2m以上)を空けること。
8. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

1. 開閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合中の選手はマスクを外すこと。
3. 試合後は、補助員席テーブルに設置している手指消毒液で必ず消毒を行うこと。また、試合終了のたびにこまめな手洗いをを行うこと。
4. ハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
5. 試合中、監督・コーチのアドバイスは、マスクをつけた状態で「待て」の間に行うこと。また、試合直前後の生徒に対するアドバイスは、距離も取った上で行うこと。
6. 原則、紅白帯の貸し出しはしない。できる限り自校で準備すること。
7. 畳の消毒は、団体戦は1試合終了ごと、個人戦は5試合終了ごとに試合場補助員が行う。
8. 給水はマイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。

【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
3. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。